

令和2年度 第11回全国高等学校選抜スピードスケート競技会 要 項

2020年12月8日

1. 主催

公益財団法人日本スケート連盟(以下「本連盟」という。)

公益財団法人全国高等学校体育連盟(以下「全国高等学校体育連盟」という。)

2. 共催

帯広市 帯広市教育委員会

3. 後援

スポーツ庁 北海道 北海道教育委員会 公益財団法人北海道スポーツ協会 北海道高等学校体育連盟

帯広市スポーツ協会 帯広商工会議所 一般財団法人帯広市文化スポーツ振興財団

一般社団法人帯広観光コンベンション協会

4. 主管

一般財団法人北海道スケート連盟 公益財団法人全国高等学校体育連盟スケート専門部

北海道高等学校体育連盟スケート専門部 (運営主管：帯広スケート連盟)

5. 会場

明治北海道十勝オーバル(帯広の森屋内スピードスケート場)

北海道帯広市南町南7線56番地7 帯広の森運動公園内 TEL:0155-49-4000

※競技会開催中に、競技会場には本競技会に関する問い合わせを一切しないこと。

6. 競技距離

女子 500m 1000m 1500m 3000m マスタートレース(10周)

男子 500m 1000m 1500m 3000m 5000m マスタートレース(10周)

7. 日程

2021年2月19日(金)

監督会議 12:30 (明治北海道十勝オーバル)

公式練習 13:00-13:50、14:00-14:50、15:00-15:50、16:00-16:40

(各セクションとも、開始20分後から20分間スタートトライアルを行う)

2021年2月20日(土)

開場 7:30

公式練習 8:00-9:00

競技開始 9:30 ①男子5000m ②女子1500m ③男子1500m ④女子500m ⑤男子500m

公式練習 競技終了後30分

2021年2月21日(日)

開場 7:30

公式練習 8:00-9:00

競技開始 9:30 ①女子3000m ②男子3000m ③女子1000m ④男子1000m

⑤女子マスタートレース ⑥男子マスタートレース

8. 競技方法

(1) 本競技会は、距離別競技会とする。

(2) 本競技会は、本要項の各規定のほか、国際スケート連盟スピードスケート競技規則(以下「ISU規則」という。)、本連盟スピードスケート競技規則及び全国高等学校体育連盟スケート専門部規定に従って実施する。

- (3)トラックは標準400mダブルトラックCタイプとする。ただし、マススタートレース(以下「MSR」という。)については、アップレーンを含む全面を使用する。
- (4)1000m以上の距離についてはカルテットスタート競技方法を採用する。
- (5)MSRを除く各距離における同時滑走者の組合せ及び滑走順は以下のとおり決定する。以下に定めのない事項についてはISU規則第239条2項に従う。

ア) 組合せ、滑走順用ランキングの編成

- ① 距離ごとに、参加申込みが受け付けられた競技者(以下「参加競技者」という。)について、日本スケート連盟が公表した当該距離の2020年3月13日時点の記録(ただし、高地リンクで記録されたものを除く。以下「前年度記録」という。)または、本競技会参加申込締切日以前に終了した、国際競技会を含む本年度の公式競技会の記録(ただし、高地リンクで記録されたものを除く。以下「本年度記録」という。)のよい方(以下「ベストタイム」という。)によって順位付ける。ベストタイムが同じ者は抽選により順位づける。
- ② ベストタイムのない参加競技者については、①までのランキングの最下位に続けて、抽選により順位付ける。

イ) 組合せ及び滑走順

- ① MSRを除く各距離において同時に滑走する参加競技者は、ア)によって編成されたランキングの上位の競技者から2名ずつ組み合わせる。
- ② スタートレーンは、上位の者をインレーンとする。
- ③ ランキングの下位の組から上位に向けて順次滑走する。

ウ) 抽選後の棄権

イ)の組合せ及び滑走順の決定後に棄権者が生じた場合、ISU規則第245条1項に従って新たな組合せ及び滑走順を決定する。

- (6)最終順位は、ISU規則第265条、第268条及び第275条に従って決定する。

(7) マススタートレース

ア) 女子、男子とも、1校2名以内で30名を参加上限人数とし1列から6名ずつ列を編成する。エントリー数が参加上限人数を超えた場合は、1500mランキング上位者から出場を認める。この場合、詳細は全国高等学校体育連盟スケート専門部及び本競技会実行委員会で決定し監督会議で報告する。

イ) レース中、2回の中間スプリントと最終スプリントを設定する。最終順位は中間と最終のスプリント合計により、続いてフィニッシュ順に従って決定される。以下、ISU規則第265条6項を適用する。

ウ) MSRの競技方法はISU規則第253条4項b)を適用する。この場合、規則に定める安全対策のうち、ヘルメット(ショートトラック基準に適合するもの)、脛あて、手袋、ネックプロテクション、アングルプロテクション、ブレードカット(先端、後端とも)は義務付けるものとする。なお、レーシングスーツはカットレジスタンスであることが望ましい。(詳細はISUコミュニケーションNo.2195を参照)

9. 表彰

各距離とも1位から3位までの者に賞状及びメダルを、4位から6位までの者に賞状を授与する。

10. 参加資格

- (1) 学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であって次の各号に該当する者

ア) 都道府県高等学校体育連盟に加盟している高等学校の生徒であって、都道府県スケート連盟を通じて本連盟に登録された者であること。

イ) 年齢制限

- ① 2003年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- ② 前記①に定める年齢制限は、特例として中国等帰国生徒については適用しない。

ウ) 同一学校であっても、全日制、定時制、通信制の課程はそれぞれ別のチームとする。

エ) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。

オ) 転校後6ヶ月未満の生徒は参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。ただし、一家転住等やむ

を得ない場合は、所属都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。

カ) 出場する者はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属都道府県高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。

(2) 引率者は、学校長の認める当該校の職員とする。ただし、やむを得ない事情により当該校の職員が引率できない場合は、部活動指導員や学校長が依頼した他校の職員が引率できるものとする。部活動指導員が引率する場合は、都道府県高体連に提出した届の写しを申込と同時に実行委員会に提出しなければならない。また、引率者は参加者の全ての行動に対して責任を負うものとする。

(3) 監督・コーチは、当該学校長が認める指導者とする。ただし、部活動指導員と外部指導者の場合は、スポーツ安全保険等の賠償責任保険に必ず加入していることを条件とする。

(4) 参加資格の特例

ア) 10. (1)イ)に定める生徒以外で大会参加基準を満たし、かつ所属都道府県高等学校体育連盟が推薦する生徒にあっては、別途に定める規定に従い大会参加を認める。

イ) 10. (1)イ)①のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の場合は、同一競技2回までとする。

《全国高等学校体育連盟大会参加の別途に定める規定》

1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。

2 以下の条件を具備すること。

(1) 大会参加を認める条件

ア) (公財)全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

イ) 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校および各種学校にあっては、年齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。

ウ) 各学校にあっては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。

エ) 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導の下に適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べ著しく均衡を失っていないこと。

(2) 大会参加に際し守るべき条件

ア) 全国高等学校選抜スピードスケート大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等にしたがうとともに大会の円滑な運営に協力すること。

イ) 大会参加に際しては、万一の事故の発生に備えて損害保険に加入しておくなど万全の事故対策を講じておくこと。

ウ) 大会参加に要する費用については、応分の負担をすること。

11. 出場制限

(1) 男女とも1名2距離以内とする。ただし、MSRを除く。

(2) MSRのみの出場は認めない。

(3) 出場申し込み者のほか、監督及びコーチは各1名以内とする。

(4) 外国人留学生にあっては、1校男女各1名以内とする。

(5) 本連盟スピードスケートバッジテストB級(スピード、ショートを問わない)以上の資格取得者であること。

(6) 10. (1)イ)により、学年制の場合は2年生以下とする。

12. 参加申込

(1) 参加申込み

ア) 全国高等学校体育連盟スケート専門部ホームページ(<http://zenkokuskate.main.jp/>)から、参加申込書(様式-1・様式-2-F・様式-2-M・様式badge)をダウンロードし、注意事項を熟読したうえ記載す

ること。

イ) 参加申込書は下記に郵送するとともに、学校名で電子データでも送信すること。この場合、必要のないシート(記入上の注意、様式-Badge、公式大会)は削除しないこと。

〒083-0003 北海道中川郡池田町字清見ヶ丘13番地 北海道池田高等学校内

第11回全国高校選抜スピードスケート競技会実行委員会宛

TEL : 015-572-2663

E-Mail : shinji-kohata@hokkaido-c.ed.jp(北海道高体連スケート専門部十勝支部)

ウ) 前記イ)の参加申込みに加え、参加申込締切までにJSFマイページの競技会参加申込サイト

(<https://www.skatingjapan.jp/mypage/>)でも参加申込みを行うこと。

① 参加申込に際しては登録個人情報にPCメールアドレス、携帯メールアドレスの両方又はいずれかにアドレスが入力されていることを確認すること。いずれにも入力されていない場合は、メールアドレスの変更から入力しておくこと。

② 参加申込完了直後にサイトから自動送付される参加申込受理通知(以下「受理通知」という。)を受け取ること。(前記①のアドレスが未入力又は誤っている場合は、受理通知は届かない。)

③ このサイトでの参加申込にあっては、参加申込締切前であれば申込内容の修正又は取り消しすることができる。この場合、前記②同様に受理通知を受け取ること。(このサイトへのログインは、参加申込締切日の正午までとする。)

エ) 前記イ)、ウ)それぞれの参加申込内容に相違があった場合は、前記イ)の参加申込書の内容により以後の処理を行うものとする。

(2) 参加申込料等の諸費用は、参加校申込み責任者が、実行委員会口座に学校名で直接送金すること。

ア) 参加申込料 1 距離につき 4,000円(マスタートレースを除く)

イ) 振込先 金融機関名 帯広信用金庫 東支店

口座番号 普通 0182322

口座名義 全国高等学校選抜スピードスケート競技会 委員長 細川 吉博

(3) 参加申込締切 2021年1月28日(木) 正午必着 ※受付開始:2020年12月9日(水)

(4) 参加申込締切後は、いかなる場合も納められた参加申込料は返還しない。ただし、本連盟又は全国高等学校体育連盟又は実行委員会が特に認めた場合はこの限りではない。

(5) 参加申込が遅延した者、参加申込書が不完全な者(日本スケート連盟国内競技会オンライン大会申込サイトで参加申込みしていない者を含む)は本競技会への参加を認めない。

(6) 参加申込にかかる個人情報は、個人情報の保護に関する法律・関連法令を厳守し、競技運営以外の目的には使用しない。

13. 宿泊

各校・各チームで手配すること。

14. その他

(1) 本連盟基準の「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策としてのスポーツ活動再開ガイドライン」を基に、競技会開催地の都道府県関係部局の指示を仰ぎながら、その施設や地域の実情に合わせた「感染拡大防止対策」に取り組むものとする。遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、参加を取り消したり、途中退場を求めることがある。

ア) 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。

① 体調がよくない場合(発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)

② 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合

③ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

イ) マスクを持参すること。

ウ) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

エ) 他の参加者、主催者スタッフ等との距離を確保すること。

オ) 競技中に大きな声で会話、応援をしないこと。

- カ) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
 - キ) 本競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
 - ク) 本連盟は本競技会に関わる全ての人の新型コロナウイルス感染に対するいかなる責任を負わない。
 - ケ) 新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、大会の中止もあり得る。
- (2) 輸送は公共交通機関を利用するものとする。
 - (3) 大会中(7.の全日程)の事故等については、応急処置のみとし責任を負わない。
 - (4) 大会参加選手にプログラム1部を配布する。
 - (5) 本競技会の各距離6位以内の者は、当該距離について来年度の全日本選抜スピードスケート競技会の参加資格を得る。